

基本方向4 便利で快適な住みよいまち

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課（等）による事業の評価		まちづくり指標				担当課			
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標			H32目標		
1 暮らしやすく機能的な都市基盤をつくるまち	(1) 計画的な土地利用の推進	156	計画的な土地区画整理事業の推進	宅地化が進み、住宅地と商工業地の混在が起きているため、その解消を図るべく計画的な宅地整備の推進に向けた調査研究の実施。	B	継続して実施。			当初		当初		企画課	
									見直し後		見直し後			
		157	土地利用の基礎資料作成に向けての調査	笠松町都市計画マスタープランを基に、有効な土地利用の促進を図るための調査、研究を実施した。	A	地籍調査を進め、将来の土地利用計画の資料とする。			当初		当初			建設課
									見直し後		見直し後			
		158	地区計画の導入による快適な住環境整備	地区計画の導入について、目的・ビジョンの明確化を図るため、各地域における有効な土地利用等についての調査、研究を実施した。	A	住工混在化した準工業地域を住居系地域への変更を検討し、純化を推進する。			当初		当初			建設課
									見直し後		見直し後			
		159	宅地開発の規制や誘導に向けた指導、相談体制の充実	開発地に関わる状況、計画などを案内する中で、建築事務所へ相談、確認し、指導体制の充実を図った。	B	継続して実施。			当初		当初			建設課
									見直し後		見直し後			
		160	道路整備プログラム作成による整備優先度の明確化	社会情勢や将来あるべき都市の姿を踏まえたうえで、都市計画道路網全体の再編調査を行うため、将来交通量推計結果をベースとした交通量配分を行い、見直し検討を図った。	B	継続して実施。			当初		当初		建設課	
								見直し後		見直し後				
		161	岐阜都市計画の見直しにあわせた市街化区域拡大の推進	岐阜都市計画協議会において、各市町の円滑な都市計画の推進について協議した。	A	調整地域の市街化をマスタープラン等で促進し、実施を検討する。	市街化区域面積 (ha)	無	当初	518	当初	581	建設課	
								見直し後	-	見直し後	-			
		162	中心市街地の効率的・機能的な土地利用の推進	目的に応じた地区計画の導入など、効率的・機能的な土地利用についての調査、研究を実施した。	A	地籍調査を進め、将来の土地利用計画の資料とする。			当初		当初		建設課	
								見直し後		見直し後				
		163	交通立地条件を活かした新たな流通・生産拠点の整備	各担当部署との連携、情報共有により、新たな流通・生産拠点の整備に向けた土地利用についての調査、研究を実施した。	B	継続して実施。			当初		当初		建設課	
								見直し後		見直し後				

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課（等）による事業の評価		まちづくり指標				担当課			
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標			H32目標		
1 暮らしやすく機能的な都市基盤をつくるまち	(1) 利用計画の画期的な進捗土地	164	未利用地の有効活用に向けた助言・支援の推進	幹線町道整備計画路線の計画的な買収により、未利用地の有効活用、適正な道路網の整備拡充を図った。 国土利用計画に基づく大規模土地取引に対し、計画に則した利用目的の審査を実施。	B	給食センター整備等と併せ、道路としての利用を図るとともに、沿道利用を促進する。			当初		当初		企画課 建設課	
								見直し後		見直し後				
		165	将来を見据えた土地の先行的な取得および公共用地の有効活用	平成25年度の公売にて入札参加がなかった2件について、最低入札価格等を再度検討し、今後も公売実施に向けて進める。	B	継続して実施。			当初		当初		総務課 企画課	
									見直し後		見直し後			
		166	都市計画道路整備プログラム修正による整備優先度の明確化	社会情勢や将来あるべき都市の姿を踏まえたうえで、都市計画道路網全体の再編調査を行うため、将来交通量推計結果をベースとした交通量配分を行い、見直し検討を図った。	B	継続して実施。			当初		当初		建設課	
	見直し後									見直し後				
		167	幹線町道の改良、整備	幹線町道の舗装改良、側溝新設により、安全な生活道路網の整備を図った。 (松波病院周辺)	B	給食センター整備等と併せ、整備を進める。			当初		当初		建設課	
	見直し後									見直し後				
		(2) 便利で快適な道路網の整備	168	機能的で美しい道路修景の推進	屋外広告物の管理、違反広告物の除却により、美しい道路修景の推進を図った。	B	継続して実施。			当初		当初		建設課
										見直し後		見直し後		
		169	歩行者にとって安全な道づくり	歩道の整備により、歩行者にとって安全な生活道路網の整備を図った。 (パイプライン上部利用整備工事(西幹線))	A	パイプライン上部利用の整備のほか、円城寺雨水幹線の上部の歩道化、中継拠点周辺の歩道整備を進める。			当初		当初		建設課	
										見直し後		見直し後		
		170	木曾川右岸道路の整備促進	関係市町との整備促進に向けた情報の共有を図った。	B	要緊急対策踏切対策と併せて検討			当初		当初		建設課	
										見直し後		見直し後		
	171	国道・県道の整備促進	国道・県道の整備促進に向けて、協議会等で意見を集約し、国・県への要望活動を実施した。 (21号、22号バイパス・南部ハイウェイ整備促進期成同盟会負担金、東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会負担金)	B	要緊急対策踏切対策と併せて検討			当初		当初		建設課		
									見直し後		見直し後			
	172	計画的な都市計画道路の整備	社会情勢や将来あるべき都市の姿を踏まえたうえで、都市計画道路網全体の再編調査を行うため、将来交通量推計結果をベースとした交通量配分を行い、見直し検討を図った。	A	計画道路の見直しを進め、早期に必要な路線について整備を検討する。			当初		当初		建設課		
									見直し後		見直し後			

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課（等）による事業の評価		まちづくり指標					担当課	
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標		H32目標		
1 暮らしやすく機能的な都市基盤をつくるまち	(3) 公共交通体系の充実	173	巡回町民バスの利用促進	地域の特性に応じ、利用者の利便性向上に繋がるバスの導入について調査・研究を実施。低床バスを2台導入。	B	継続して実施 平成25年度に利用者数が70,867人に減少したが、平成26年度に74,082人に持ち直し、平成27年度も利用者数が増加しており（上半期で39,386人）、今後も利用促進に努める。	公共施設巡回町民バス利用者数（人）	無	当初	78,000	当初	80,000	企画課
								見直し後	-	見直し後	-		
		174	効率的で利便性の高い巡回町民バス路線の整備	交通空白地帯の解消を目指し、運行路線の抜本的な見直しへ向けた案の検討をおこなったが、一時間一運行の現状ルート・ダイヤが妥当との結論に達する。（平成25年度）	B	継続して実施。			当初		当初		企画課
								見直し後		見直し後			
175	地域の実情にあった新たな交通・サービスの導入の検討	デマンドタクシーやボランティア有償運送などの新地域公共交通サービスの洗い出し。近隣市町のコミュニティバスの乗り入れ等を実施し、広域的な地域公共交通の強化を図る。	B	継続して実施 各務原市ふれあいバス（川島線）が東米野、米野高瀬にバス停設置、乗り入れ。			当初		当初		企画課		
						見直し後		見直し後					
176	鉄道およびバス等を総合的に活用した公共交通利用促進策の検討	県地域公共交通協議会等より情報収集し検討を図る、またJR新駅の必要性について内部検討を実施。岐阜バス岐阜川島線に対し「生活交通路線バス維持管理費補助金」を関係市町と共に支出。	B	継続して実施。			当初		当初		企画課		
						見直し後		見直し後					
2 快適でいつまでも住みたいまち	(1) 良好な住環境の創出	177	駅を活かした拠点の整備	町の玄関口として、町の情報発信拠点「ふらっと笠松」の継続運営。	B	継続して実施。			当初		当初		企画課
								見直し後		見直し後			
		178	建築指導や相談の実施	建築地に関わる用途地域、道水路の状況と計画についての案内を実施した。定住促進のPR活動としては、広報かさまつ・ホームページに制度の紹介を掲載、住宅展示場へチラシを設置した。	B	継続して実施。			当初		当初		税務課 建設課
								見直し後		見直し後			
		179	美しいまちなみづくりへの支援	条例に基づき、適正管理がなされていない家屋の所有者に対する助言指導等を実施した。	B	継続して実施。			当初		当初		総務課 企画課 建設課
						見直し後		見直し後					
180	道路や歩道、公共施設における緑化の推進	街路樹の剪定、草刈りの実施など、緑化の推進により美しいまちなみづくりを実施した。「緑の募金」により毎年道路等の緑化推進に努めている。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課 建設課		
						見直し後		見直し後					
181	地区基幹公園や身近な街区公園の整備	地域に応じた都市公園の計画的な整備の推進を図った。（運動公園整備工事、みなと公園修繕）	A	運動公園の整備のほか、蘇岸築堤記念碑公園の改築、雨水調整池上部利用による公園整備を進め、また既存公園の維持管理を強化する。			当初		当初		建設課		
						見直し後		見直し後					

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課（等）による事業の評価		まちづくり指標				担当課			
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標			H32目標		
2 快適でいつまでも住みたいまち	(1) 良好な住環境の創出	182	木曾川の自然を活かしたサイクリングネットワークの構築	木曾三川公園の計画に則したサイクリングロード整備事業の実施により、ネットワーク構築の推進を図った。（サイクリングロード整備工事）	A	平成26年より木曾川自転車道整備運営連絡会が設置され、周辺地区との連携強化を図る。 指標については、進捗状況により見直し	木曾川サイクリングネットワーク(km)	有	当初	4.9	当初	6.8	建設課	
									見直し後	3.2	見直し後	5.6		
		183	住民主体の環境美化活動の活性化	美しいまちづくり条例に基づき、空き地所有者に対して適切に管理するよう指導を行っている。 指導実績（平成26年度19件）	B	継続して実施。				当初		当初		環境経済課
										見直し後		見直し後		
		184	水源施設の適切な維持管理	施設能力の高い第4水源地の主要機器更新は、平成26年度で完了した。また第3水源地は平成14年度に更新完了している。消耗部品等に関しては、点検業者の指導の下、適切に取替修繕を実施している。	A	継続して実施。 平成28年度に「新水道ビジョン」を策定し、その中で第1水源地の更新改良計画の検討も行う。				当初		当初		水道課
										見直し後		見直し後		
		185	水道施設の耐震化	経年配水管の更新により、耐震化の促進を図り漏水による道路陥没等の事故防止、有収率の向上を図っている。また、配水管の耐震補強工事を行い、災害時の漏水を防ぎ、断水箇所の減少を図っている。	B	継続して実施。		上水道有収率(%)	無	当初	89.0	当初	90.0	水道課
										見直し後	-	見直し後	-	
	186	周辺自治体との相互給水支援体制の強化	災害時に（社）日本水道協会会員の水道事業者（市町村等）等による応援給水が行われることや、各務原市（市街化調整区域）との相互給水支援体制が整っていないため、今後協議をすすめていく必要がある。	B	継続して実施。				当初		当初		水道課	
									見直し後		見直し後			
	187	節水を意識した適切な水利用の啓発	広報、HP等により住民に啓発する。また、毎年小学4年生を対象とした水源地見学会のなかで、水を大切に使用するよう啓発をおこなっている。	B	継続して実施。				当初		当初		水道課	
									見直し後		見直し後			
	188	水道事業の安定経営に向けた民間委託の検討	窓口・収納業務（納付書発行・料金消し込み・検針データ処理・休開始受付など料金システム関連業務）の民間委託を実施した。	B	継続して実施。 民間委託できる業務について、他市町の状況を鑑み、民間委託を検討する。				当初		当初		水道課	
									見直し後		見直し後			
(2) 環境の整備で快適な	189	進捗状況にあわせた事業認可区域の拡大	認可計画目標年次：平成32年度 認可計画区域面積：668ha （内市街化区域面積：493.6ha）	B	継続して実施。	下水道普及率(%)	無	当初	88.6	当初	94.4	水道課		
								見直し後	-	見直し後	-			
	190	効率的な下水道管渠整備と耐震対策の推進	平成26年度末整備済面積：483.9ha 平成27年度整備予定面積：10.50ha	A	継続して実施。 費用対効果を十分考慮し計画的に整備を進める。 平成27年度末整備予定 494.4ha			当初		当初		水道課		

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課(等)による事業の評価		まちづくり指標					担当課	
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標		H32目標		
2 快適でいつまでも住みたいまち	(2) 清潔で快適な環境の整備	191	水洗化の促進と下水道への接続促進	水洗便所等改造資金融資あっ旋及び利子補給制度、水洗便所等改造工事助成金交付制度を設け接続促進を図っている。広報、HP等で啓発を行い接続促進を図っている。	B	継続して実施。広報、HP、工事説明会開催時において啓発を行い接続促進を図る。			当初		当初		水道課
								見直し後		見直し後			
		192	し尿および浄化槽汚泥の適正な収集処理の推進	浄化槽等の設置に関する必要な事項を調査・把握・管理することを目的に浄化槽及び汲み取り槽の現況確認調査を実施。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
								見直し後		見直し後			
		193	浄化槽の適正な維持管理への指導	水質汚濁対策として公共下水未整備区域において、合併処理浄化槽の普及を推進するとともに、良好な水質を保つために浄化槽の保守点検・清掃及び法定点検についての啓発を実施。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
							見直し後		見直し後				
		194	公害防止に向けた対策の強化	水質汚濁、騒音、悪臭等事業所の事業活動に起因する公害対策として、公共水域等水質検査(年3回)をはじめ各種検査・測定等を実施し、併せて事業所に対して指導している。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
								見直し後		見直し後			
		195	社会情勢に即した火葬場施設および墓地周辺環境の整備	施設の老朽化に伴い、火葬炉の拡大改修工事等を実施し利用者の利便性を向上させるとともに、将来的に火葬場及び緑町墓地の大規模改修等に対応すべく、整備基金を積み立てていく。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
								見直し後		見直し後			
3 未来の環境を守るまち	(1) 循環型社会の構築	196	環境にやさしい暮らし方に関する意識啓発	公共施設や家庭において節電・節水等省エネルギー化に係る啓発・啓蒙活動の実施。	B	継続して実施。	低公害車数(町公用車)(台)	無	当初	5	当初	10	環境経済課
								見直し後	-	見直し後	-		
		197	地球温暖化防止対策の推進	町民や事業者に対し、自然エネルギーの活用や省エネ活動の取り組みを促し、CO2の削減によって地球温暖化防止に資するための啓発・啓蒙活動の実施。	B	継続して実施。	新エネルギー施設箇所(か所)	無	当初	1	当初	2	環境経済課
								見直し後	-	見直し後	-		
		198	環境保護活動団体の育成・支援	ダンボールコンポスト等生ごみ減量化に資する処理装置の導入の推進等、ごみの減量化やCO2削減に取り組んでいるボランティア団体等のHP、広報紙への活動内容の掲載など、住民に対する情報発信の推進。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
								見直し後		見直し後			
		199	ごみの減量化の推進	資源集団回収事業奨励事業金交付事業、生ごみ減量化推進補助金交付事業の実施及びリジ袋の有料化を実施し、ごみの減量化の推進を図っている。	B	継続して実施。	生ごみ処理機助成数(台)	無	当初	20	当初	30	環境経済課
								見直し後	-	見直し後	-		

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課（等）による事業の評価		まちづくり指標					担当課	
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標		H32目標		
3 未来の環境を守るまち	(1) 循環型社会の構築				B	継続して実施。	資源系ごみ集団回収収集量(t)	無	当初	500	当初	500	環境経済課
								見直し後	-	見直し後	-		
		200	リサイクルと再資源化の推進	町が委嘱した廃棄物減量等推進員の協力体制のもと分別回収を実施しており、推進員に対して年1回リサイクル工場等への視察研修を実施している。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
								見直し後		見直し後			
		201	わかりやすい分別収集体制の確立と資源回収システムの充実	分別方法を掲載したごみのカレンダー及び家庭ごみハンドブックを各世帯に配布し、年に1回廃棄物減量等推進会議にて各町内代表の推進員に詳細な分別方法の説明を実施している。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
								見直し後		見直し後			
		202	適正な廃棄物の収集・処理の推進	生活様式の変化に伴い、量的増大とともに、質的にも多様化しているごみについて、家庭や事業者に対して、ごみ処理意識の向上と排出抑制方法・分別方法の普及に努める。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
								見直し後		見直し後			
		203	関係市町との連携による処理施設の整備や最終処分場の確保	岐阜羽島衛生施設組合で策定されたごみ処理施設整備基本計画に基づき、新規ごみ処理施設の建設に向け広域的な整備を検討中である。	B	継続して実施。			当初		当初		環境経済課
								見直し後		見直し後			